




## プロトタイピングと本番運用のサイクル





常に管理者ユーザーでログオンするのではなく、別のユーザーでログオンするには、まず GeneXus でワークフローの実行モードを変更する必要があります。


設定ウィンドウの環境ノードがもつプロパティでワークフローグループまで移動し、「Execution mode」プロパティを「Prototyper」から「StandardClient」に変更します。

 設定

 GXBPM Suite

 GXBPM Suite

-  .NET Framework Environment
  -  バックエンド
  -  フロントエンド
  -  デプロイメント

 Workflow

Business processes names	GXBPM Suite
Execution mode	<b>StandardClient</b>
Workflow generator	Default (.NET Framework)
Deploy business processes	Yes
Create new versions of bus	Yes

「FlightTicketReservation」ダイアグラムを実行すると、ワークフロークライアントがログイン画面を開きます。ユーザー「Peter Kent」でログインします。



The login form for GXflow. It features the GeneXus GXflow logo at the top. Below the logo are three input fields: a text field containing 'PKENT', a password field with masked characters '\*\*\*\*\*', and a dropdown menu currently showing 'ロール' (Role) with a downward arrow. A blue 'サインイン' (Sign In) button is positioned below the fields. At the bottom, there is a link for 'パスワードを忘れた場合' (Forgot password).

サインイン

[パスワードを忘れた場合](#)

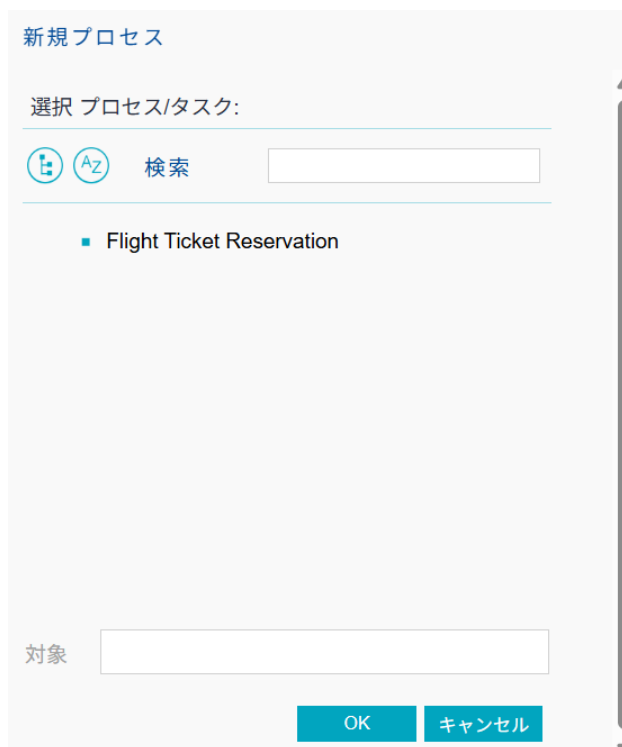
ユーザー「Peter Kent」がログインすると、このユーザーが管理者よりも少ない許可を持っているため、ブラウザでのアクティビティへのアクセスが制限されています。

受信トレイが空であることを注意してください。



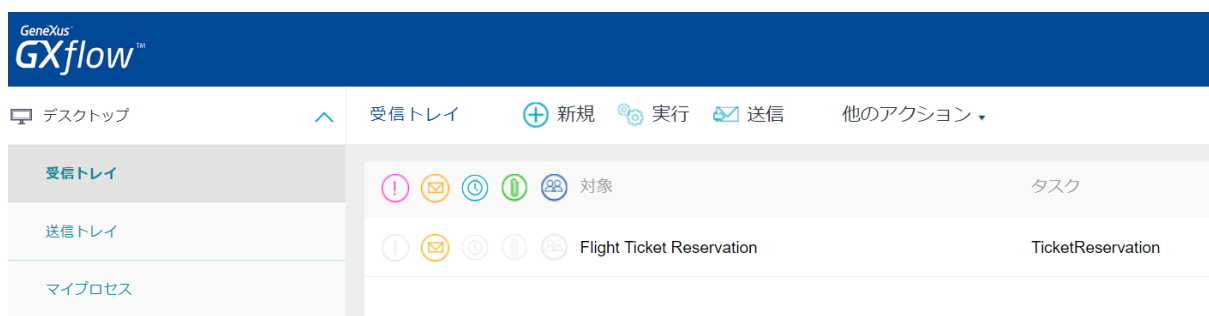
A screenshot of the GXflow application interface. The top header is dark blue with the GeneXus GXflow logo on the left and the date '2025/03/' on the right. Below the header is a navigation bar with icons and labels: 'デスクトップ' (Desktop), '受信トレイ' (Inbox), '+ 新規' (New), '実行' (Execute), '送信' (Send), and '他のアクション' (Other actions). A sidebar on the left contains a list of menu items: '受信トレイ' (Inbox), '送信トレイ' (Outbox), 'マイプロセス' (My processes), 'マイドキュメント' (My documents), and 'マイパフォーマンス' (My performance). The main content area displays a table with two columns: '対象' (Target) and 'タスク' (Task). The '対象' column contains five circular icons representing different statuses: a pink exclamation mark, a yellow envelope, a blue clock, a green checkmark, and a blue circle with a diagonal line.

では、「新規」ボタンを押してプロセスを開始してみます。ダイアログボックスが開き、「FlightTicketReservation」プロセスが選択可能なプロセスとして表示されます。



このユーザーに「TravelAgencyEmployee」ロールを割り当て、「FlightTicketReservation」プロセスを開始する権限をユーザーに付与したためです。選択して OK を押します。

受信トレイには「TicketReservation」タスクが保留中として表示されており、これはユーザー「Peter Kent」に対応する「TravelAgencyEmployee」ロールによって実行が可能です。

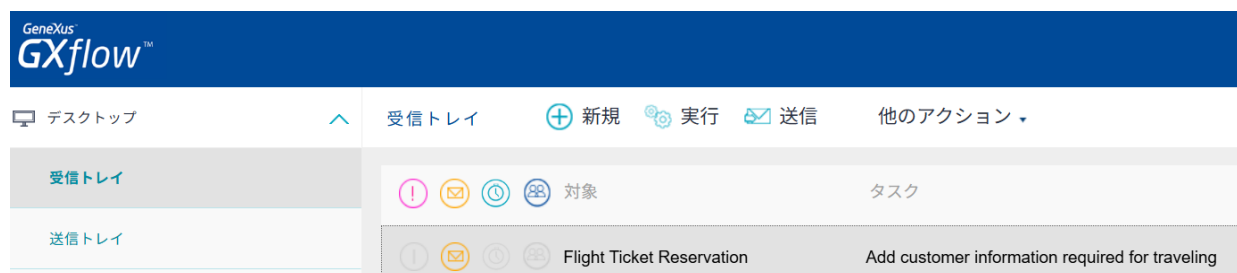


タスクを実行して予約を入力しましょう。タスクを完了すると、このユーザーが実行可能なため、「ContactAirlines」タスクのインスタンスが保留中として表示されます。

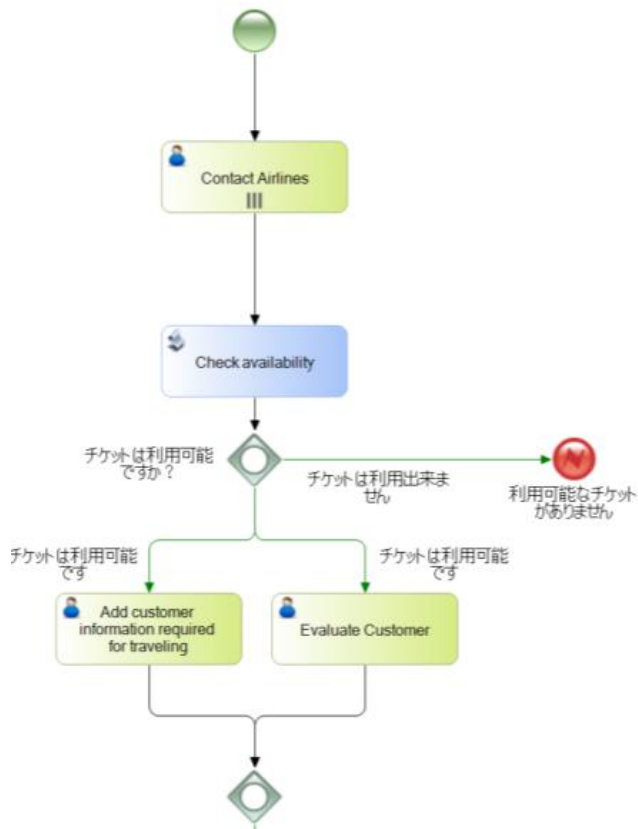


実行して完了します。

現在、「Add customer information required for travelling」タスクのみが保留中として表示されています。



ダイアグラムを見ると、「EvaluateCustomer」タスクも実行されていることがわかりますが、このタスクは「TravelAgencyManager」ロールで定義されているため、ユーザー「Peter Kent」は実行できず、受信トレイに保留中として表示されません。



このタスクを実行すると、受信トレイが空になっていることがわかります。送信トレイに移動すると、このユーザーが実行したすべてのタスクが表示されます。

GeneXus  
GXflow™

2025/08/04 - 15:11:20

P

Pat...

デスクトップ

送信トレイ

履歴

参照

コメント

ドキュメント

受信トレイ

送信トレイ

マイプロセス

マイドキュメント

マイパフォーマンス

対象	タスク	ステータス	作成日時	終了
Flight Ticket Reservation	Add customer information requir...	完了	25/08/04 14:59	25/08/04 15:11
Flight Ticket Reservation	Contact Airlines	完了	25/08/04 14:58	25/08/04 14:59
Flight Ticket Reservation	Contact Airlines	完了	25/08/04 14:58	25/08/04 14:59
Flight Ticket Reservation	Contact Airlines	完了	25/08/04 14:58	25/08/04 14:59
Flight Ticket Reservation	Contact Airlines	完了	25/08/04 14:58	25/08/04 14:58
Flight Ticket Reservation	TicketReservation	完了	25/08/04 14:58	25/08/04 14:58

「Add customer information required for travelling」タスクを選択し、「履歴」を押すと、プロセスの履歴、各タスクを実行したユーザー、次のタスクを実行できる可能性のある候補者が表示されます。

履歴

コメント 参照 ドキュメント 条件 他のアクション

ステップ	ステータス	ユーザー	作成日時 ▲	終了
Contact Airlines	完了	Pater Kent	25/08/04 14:58	25/08/04 14:59
Contact Airlines	完了	Pater Kent	25/08/04 14:58	25/08/04 14:58
Check availability	完了	Workflow Engine	25/08/04 14:59	25/08/04 14:59
チケットは利用可能ですか？	完了	Workflow Engine	25/08/04 14:59	25/08/04 14:59
Evaluate Customer	準備完了	N/A	25/08/04 14:59	
Add customer information required fo...	完了	Pater Kent	25/08/04 14:59	25/08/04 15:11
Gateway	処理中	Workflow Engine	25/08/04 15:11	

最初 / 戻る / 次へ / 最終

1 - 10 / 10

今のところ、すべてのタスクは「Peter Kent」または「Workflow Engine」によって実行されています。

プロセスを進めるには、「EvaluateCustomer」タスク（ユーザーが割り当てられていないため N/A と表示されています）を実行する必要があるため、そのためには「マネージャー」ユーザーが参加する必要があります。そこで、サインアウトして、先ほどマネージャーとして定義したユーザー「Anna Smith」のアカウントでログインします。

GeneXus™  
**GXflow™**

ASMITH

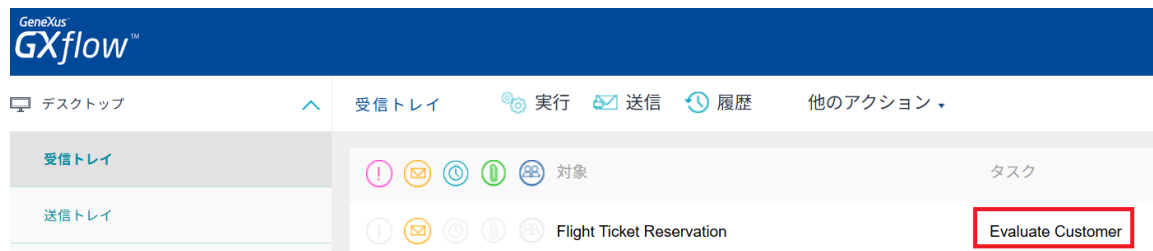
.....

ロール ▼

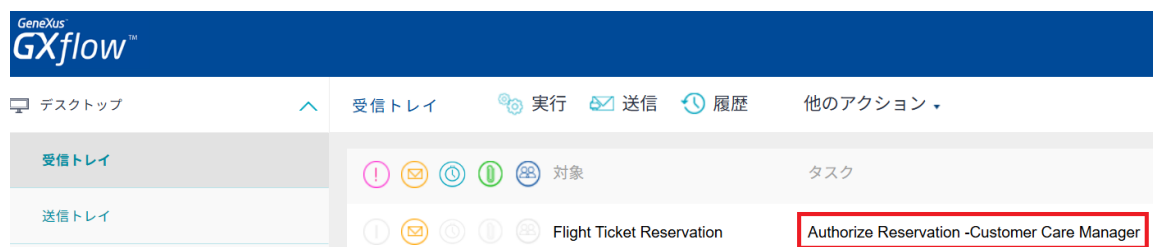
サインイン

[パスワードを忘れた場合](#)

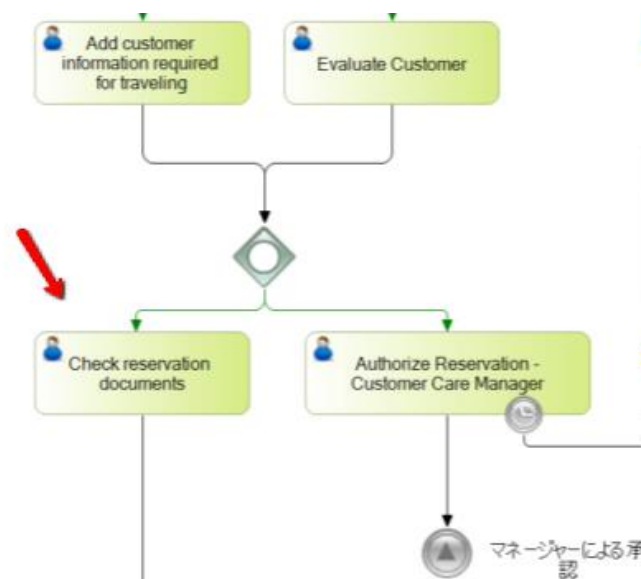
Gxflow クライアントが開いているとき、予想通り、「EvaluateCustomer」タスクが受信トレイに保留中として表示されているのが分かります。



それでは、顧客を承認してこのタスクを実行してみましょう。現在保留中として表示されているのは、カスタマーサービスマネージャーによる予約の承認です。



このタスクのみが保留中として表示され、ダイアグラムで定義され従業員によって実行される予約文書の確認は表示されず、現在はマネージャーロールで実行されていることに注意してください。



予約を承認し、タスクを完了しましょう。マネージャーであるユーザー「Anna Smith」には、保留中のタスクが残っていないことに注意してください。



では、ユーザー「Peter Kent」で再度ログインしてプロセスを完了しましょう。

GeneXus™  
**GXflow™**

PKENT

\*\*\*\*\*

ロール ▼

**サインイン**

[パスワードを忘れた場合](#)





旅行代理店が私たちに考慮するように依頼した状況の 1 つは、従業員が不在の場合です。これまで定義したように、そのロールを持つユーザーを待つプロセスが残っており、遅延が発生する可能性があるためです。

タスクを代理担当者に自動的に転送するには、「不在通知」機能を使用します。この機能を使用するには、管理者ユーザーでログインし、「ユーザー」に移動してユーザー「Anna Smith」を選択し、「他のアクション」で「編集」を選択します。



「対応の可否」タブを選択すると、ユーザーが現在オフィスにいるかどうかを定義できるウィンドウが開きます。

ユーザーの証明書

一般

対応の可否

証明書

☒ 現在ユーザーはオフィスにいます

☐ 現在ユーザーはオフィスにいません

OK

キャンセル

「現在ユーザーはオフィスにいません」を選択して OK を押した場合、別のウィンドウが開き、不在に関する詳細情報（復帰日の定義や、ユーザーが呼び出されたときに表示されるメッセージなど）を入力できます。

不在アシスタント

一般

変換

帰社日付

//

メッセージ

OK

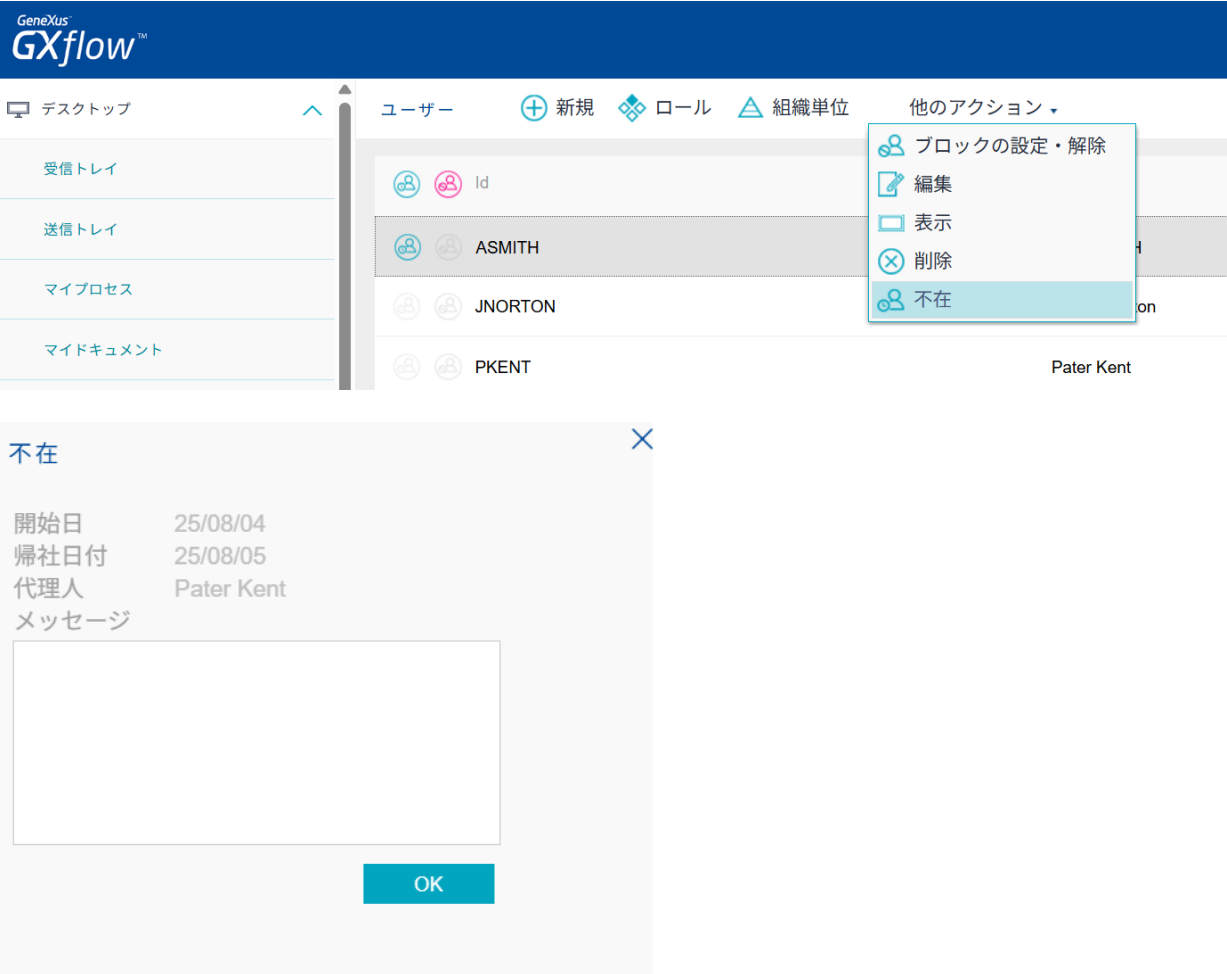
CANCEL

この場合、「Anna」のタスクを「Peter Kent」が実行するように定義します。

OK を一度押し、もう一度 OK を押します。すると、ユーザー「Anna Smith」の横に、このユーザーが不在であることを示すインジケータが表示されます。

Page 11

「他のアクション」に移動して「不在」を選択すると、ユーザーがオフィスにいない期間と、その不在中に誰がユーザーのタスクを実行するかを確認できます。



この結果を確認するため、ログアウトしてユーザー「Peter Kent」でログインします。

「新規」ボタンを押し、「FlightTicketReservation」プロセスをインスタンス化し、「TicketReservation」タスクと「ContactAirlines」インスタンスを実行します。

すると、2つの保留中のタスクがあるのがわかります。1つは従業員が旅行の情報を追加するために実行したもので、もう1つはマネージャーにのみ許可された「EvaluateCustomer」タスクです。



「Peter Kent」が顧客を評価するために必要なマネージャーの役割を持っていない場合でも、このユーザーは「Anna Smith」の不在中に代理として定義されているため、「Peter Kent」は代理する人のユーザーの役割を持つことになります。

タスク「EvaluateCustomer」を実行すると、実際には従業員の「Peter Kent」が代理として行動しているマネージャーのタスクを実行することが許可されていることがわかります。

The screenshot displays the 'EVALUATE CUSTOMER STATUS' window in the GXflow application. The left sidebar contains navigation links: デスクトップ, 受信トレイ, 送信トレイ, マイプロセス, マイドキュメント, and マイパフォーマンス. The main content area is titled 'Customer financial authorization' and lists the following details:

Field	Value
Id	1
Name	John parker
Address	6500 Main Street, Houston, USA
Phone	555-123456
Email	jparker@gmail.com
Added Date	25/07/18

At the bottom of the form, there are two buttons: 'AUTHORIZE' (highlighted in red) and 'REFUSE' (in red text). A 'Resendation #' field is also visible on the right side of the form.

ユーザーとロールを設定し、どの状況で誰が各タスクを実行できるかを制限することで、プロセスのセキュリティを定義する方法を見てきました。